

データで見る地域経済の国際化

2024年3月28日
セブティサーチ&コンサルティング
田口 庸友

○ 地域経済の課題と国際化の視点

経済産業構造は国内全体では「東京一極集中」だが、実態は地域単位の中核都市に集積する「多層的集中」。仙台には東北域内から経済資源が集まる（「集積の利益」のメカニズム）が、今後は**域内の危機的な少子化**により持続的成長にも黄色信号。

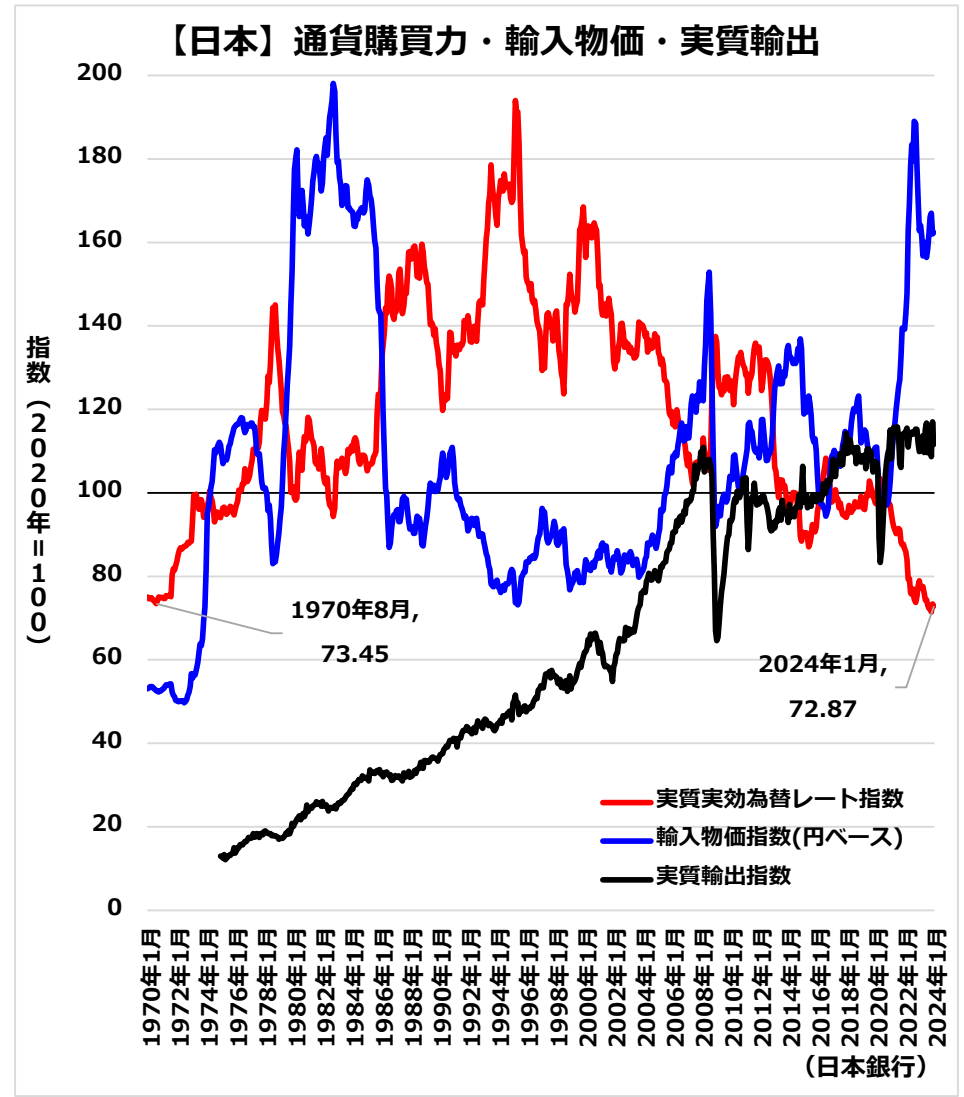
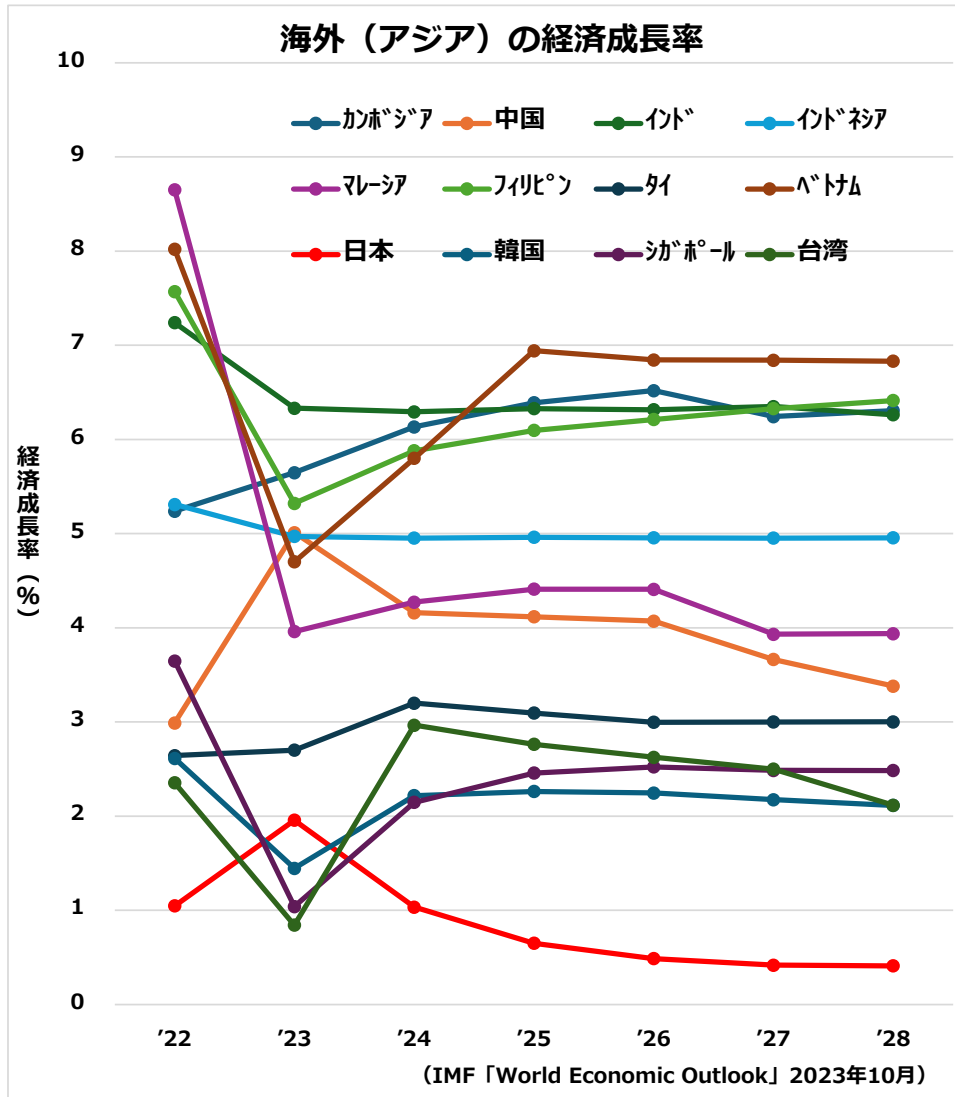
👉 **需要サイド**では、差別化要素のない財・サービスは**各地域の中核都市**および**中央資本**に「**規模の利益**」の強みがあり、**人口・総需要が頭打ちの国内市場での地域企業の伸長の余地は限定的**。

👉 **供給サイド**では、深刻な人手不足に対して女性や高齢者の就業率は臨界点にあり、**デジタル化で代替できない労働集約型**など**地方に多い産業を中心に海外は重要な労働供給源**。

👉 **金融・国際経済サイド**では、米中の対立や地政学リスクなどを背景に**グローバル・サプライチェーン再構築**のための国内投資・回帰の機運が高まり、**海外(新興国)の経済成長と円安基調**による「**安いニッポン**」に対する**投資・消費なども旺盛**である。

⇒ **需要(財・サービス、投資)も供給(労働市場)も海外頼み**

○ 為替・海外所得をめぐる情勢

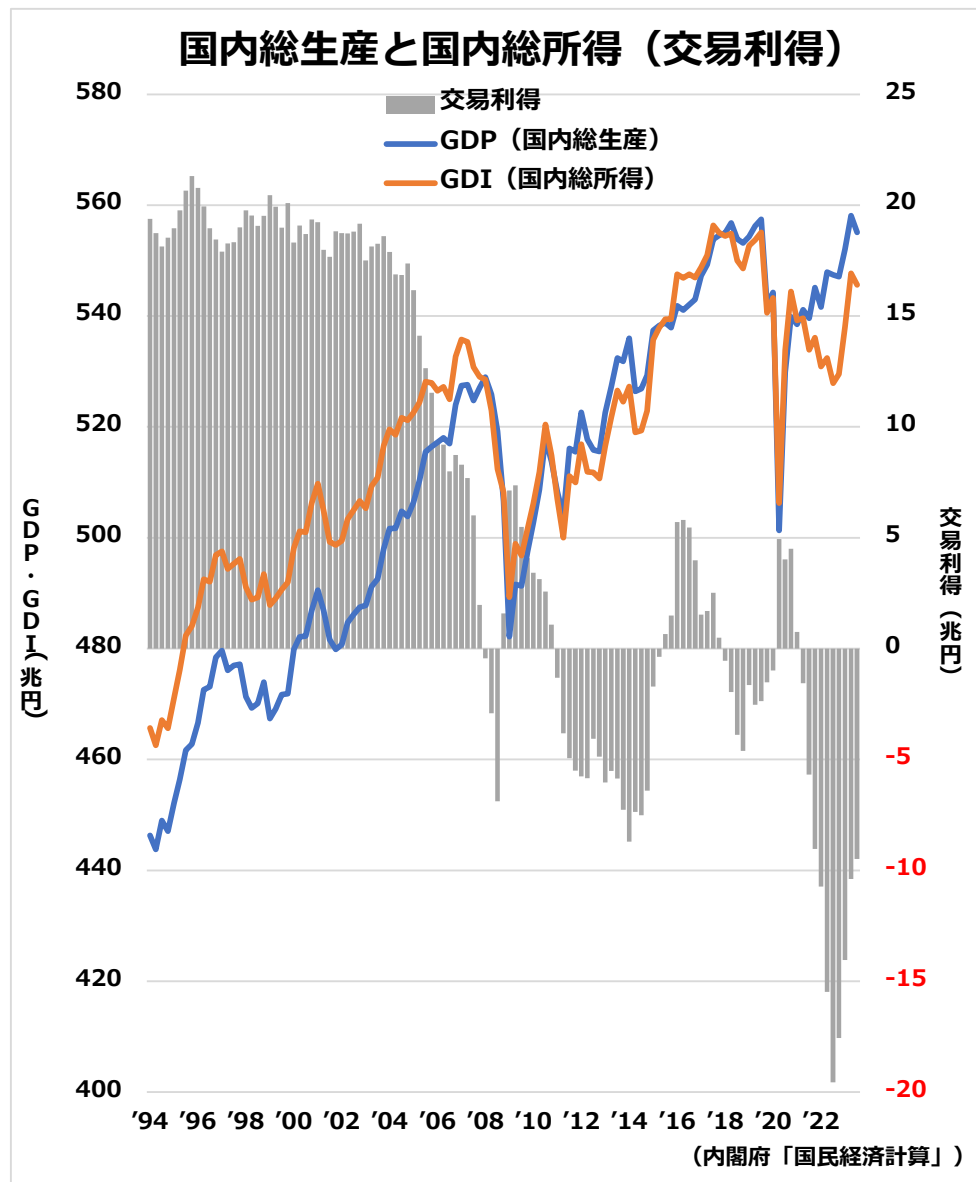


急成長の続く見通しの近隣アジア新興国、歴史的通貨安・輸入インフレに低成長の日本

○ 最近の国内経済の最大の課題（値上げ・賃上げ）について①



- ・現在の「値上げ」「賃上げ」は、海外に流出した所得（交易損失：「穴の空いたバケツ」⇒）の穴埋めを、家計・企業間で負担を転嫁しあうマイナス・サム・ゲームであり、どこかに負担が偏る。
- ・「穴の空いたバケツ」に残った水の分け前を考える前に、穴をふさぐ（海外への所得流出防止）か、水を足す（外貨獲得）のでなければ持続可能ではない。



○ 最近の国内経済の最大の課題（値上げ・賃上げ）について②

① 所得流出を抑える

→食料・エネルギーなどの国内自給率を高める。

- ・風力・太陽光を増やしてもバックアップ電源（火力など）が必要で問題解決にならない。（次世代）原発・水力・地熱・水素・アンモニア・ヒートポンプ技術など(準)国産一次供給エネルギーや蓄電池の開発に注力。
- ・補助などを通じ学校給食等への国産食材活用など地産地消で生産者の事業基盤を支援。

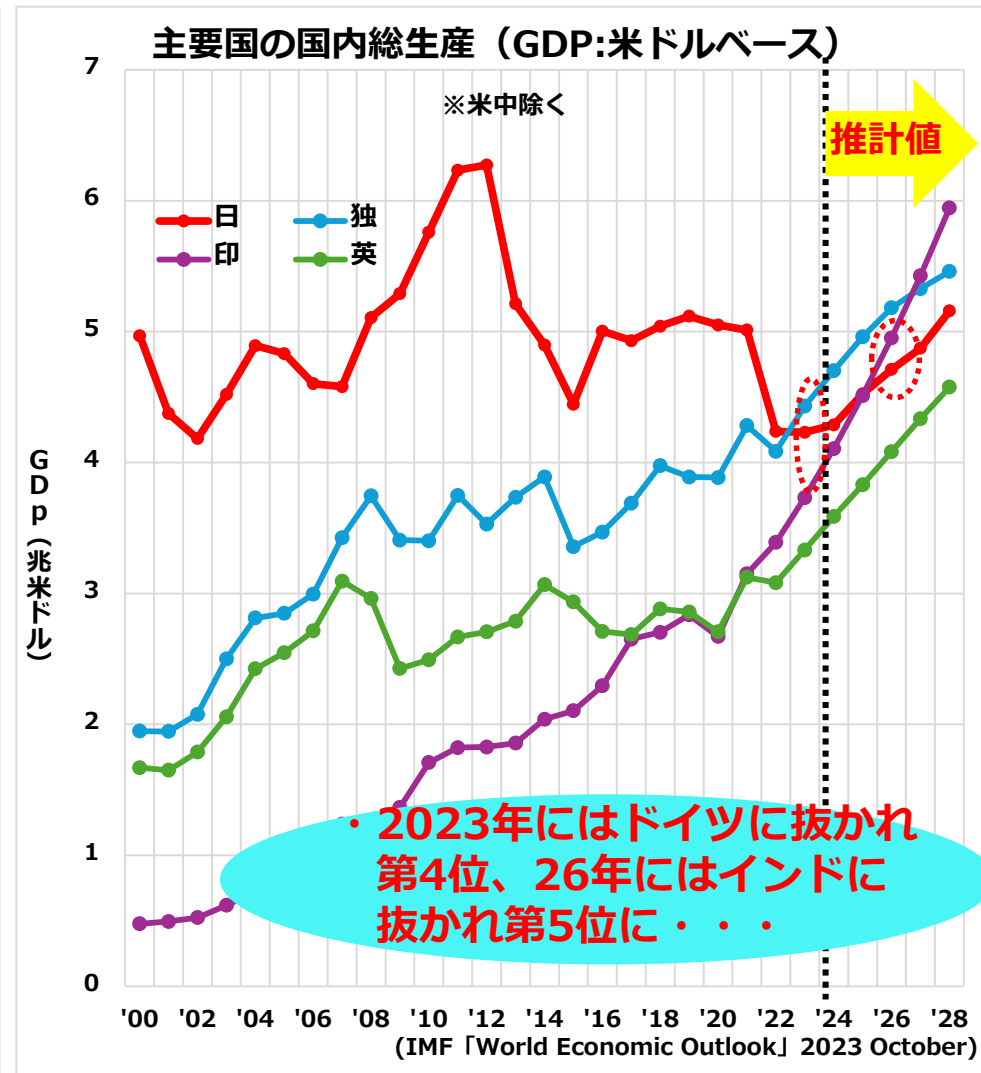
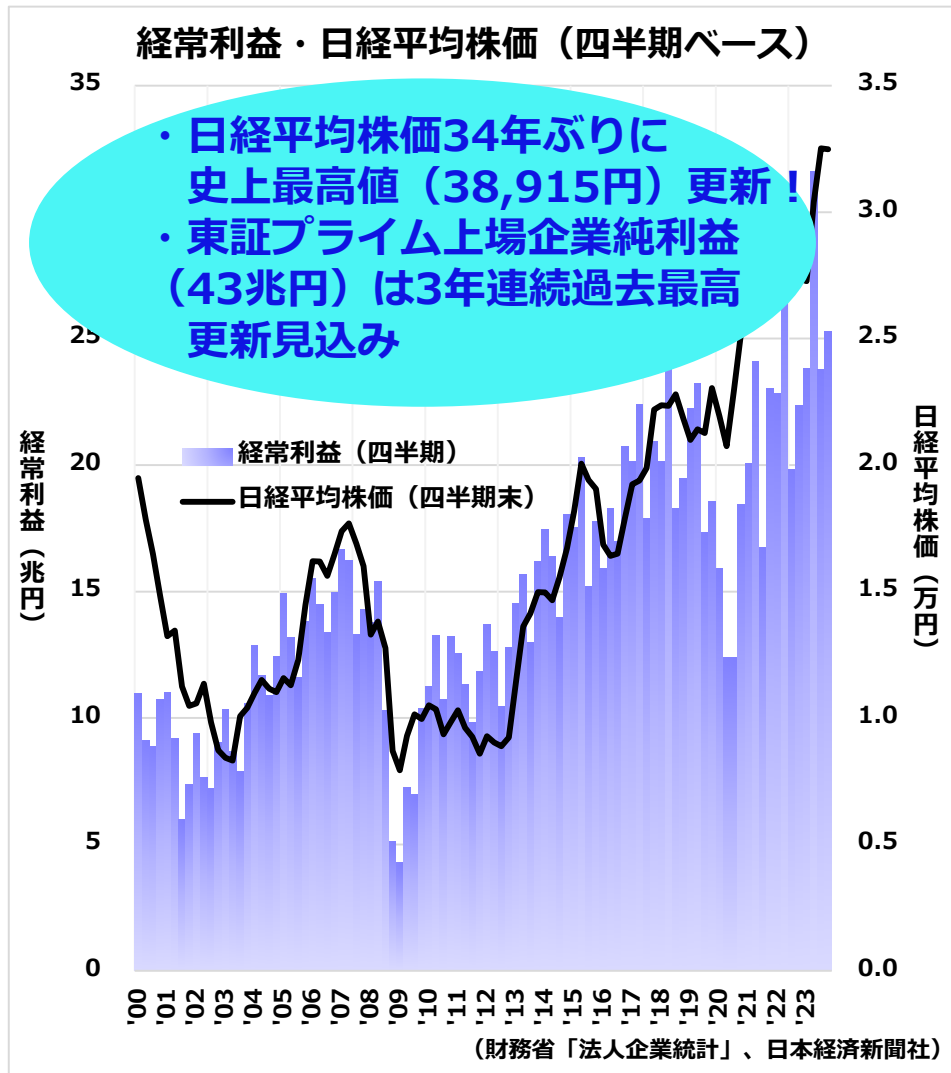
② 海外から所得を得る

→商品・サービスを輸出して外貨を獲得する。

- ・海外では「健康食」「和食」のブームで2021年には農林水産品の輸出額は初めて1兆円を突破し、その後も増加基調。アルコール（日本酒）が好調。
- ・コロナの社会的終息でインバウンドは本格的に再開。コロナ前は6割が東アジアで団体ツアーの「爆買い」中心だったが、個人客が地方へ波及しつつある。

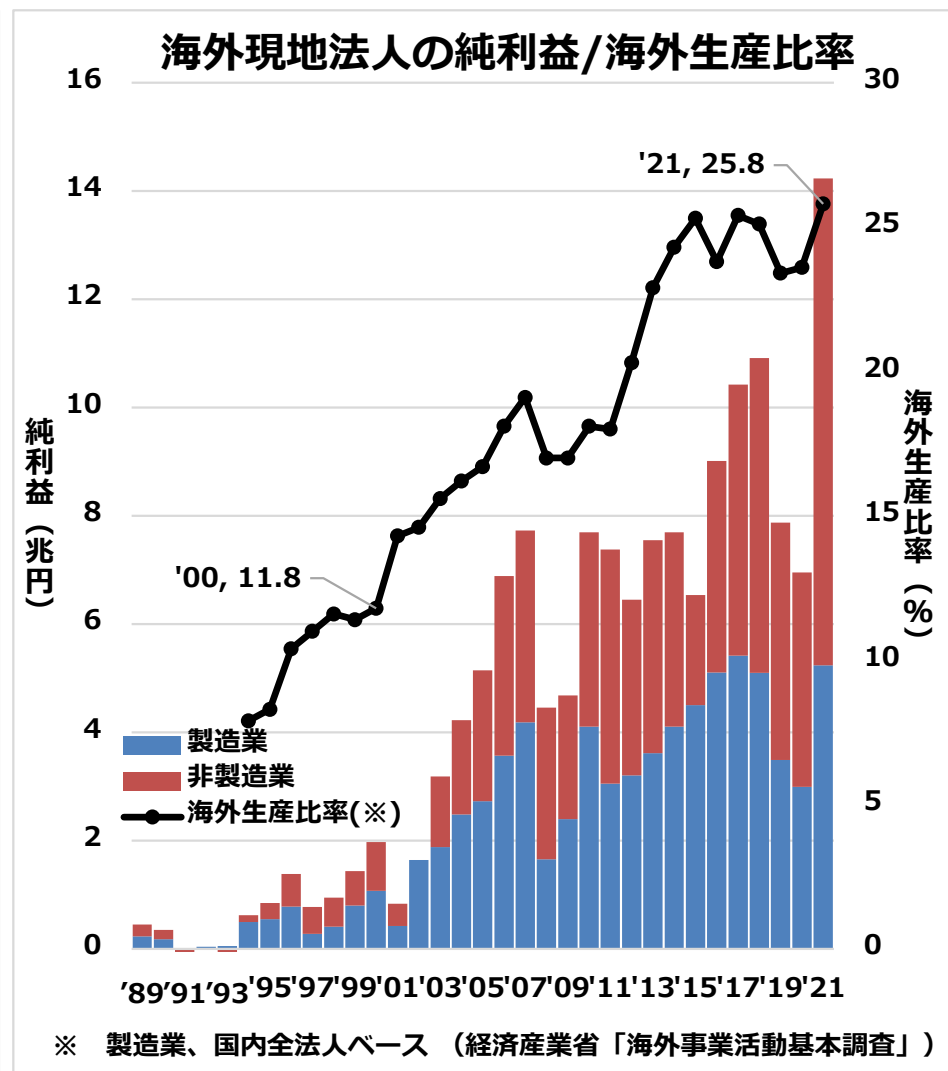
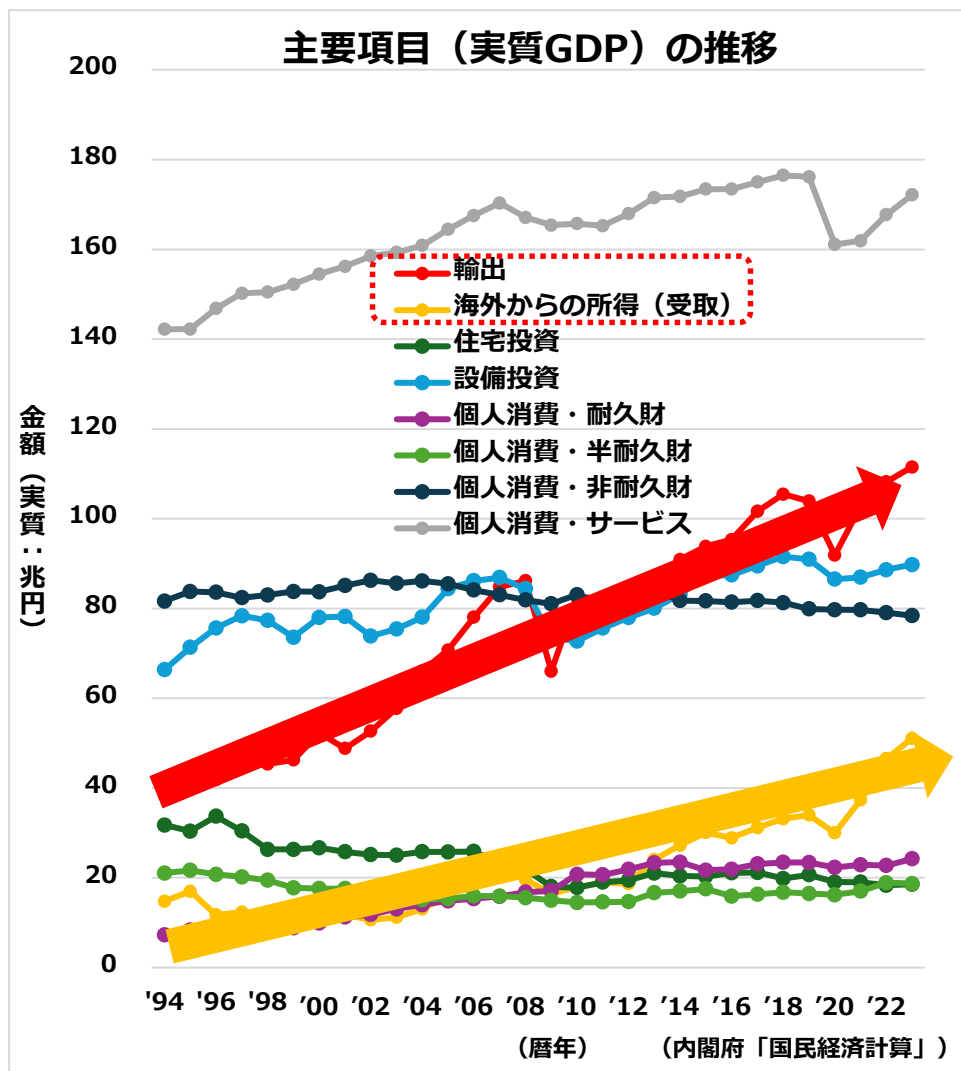
いずれも仙台・東北に「地の利」・伸びしろあり

○ 最近の経済情勢の話題から（株価・企業収益／日本のGDP）



- ・ 株価・企業収益ともに過去最高を更新、平成バブルと異なり地に足の着いた経済成長
- ・ 一方、国内総生産は伸び悩み、徐々に順位が後退。日本経済に何が起きているのか？

○ 国内需要・海外生産の動向



- 平成バブル崩壊後、バランスシート調整（設備・債務）で国内投資・消費は長期停滞。
- 次第に海外で稼ぐ企業、海外は生産工場から消費市場へと成長して非製造業も進出。

○ 東北の上場企業は？

【日本経済新聞：2023年12月20日】

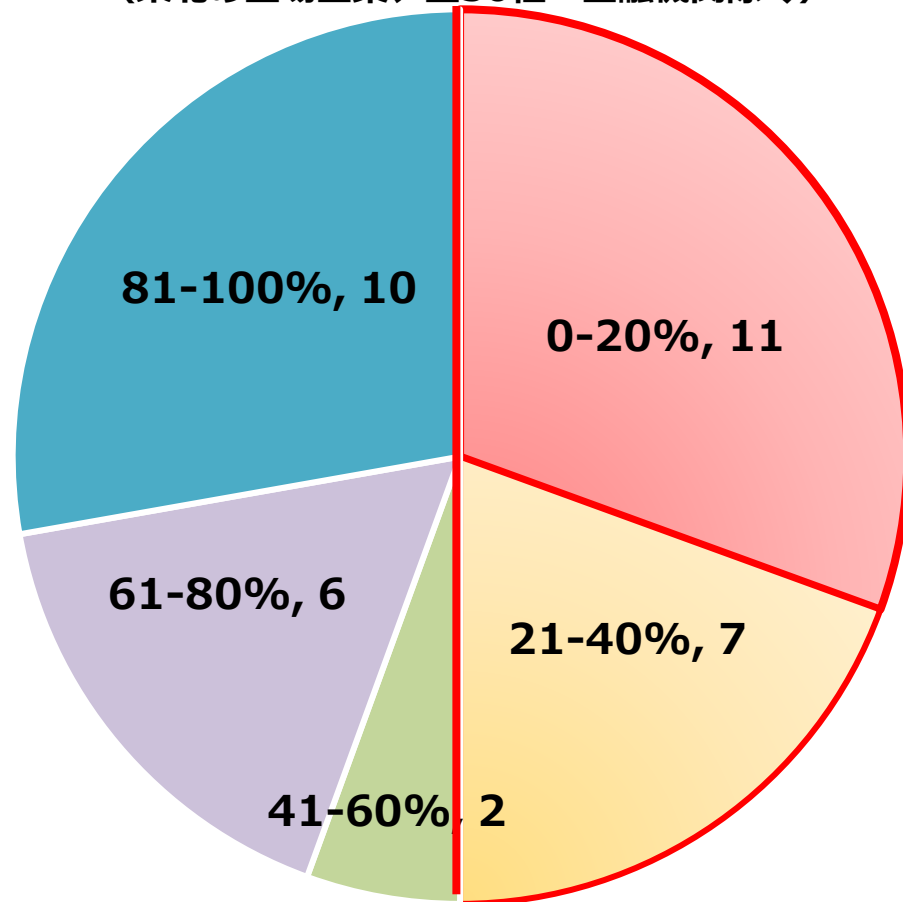
昨年（2023年）に東北で新規上場した企業の特徴

⇒ 「（東北）域外での収益大」

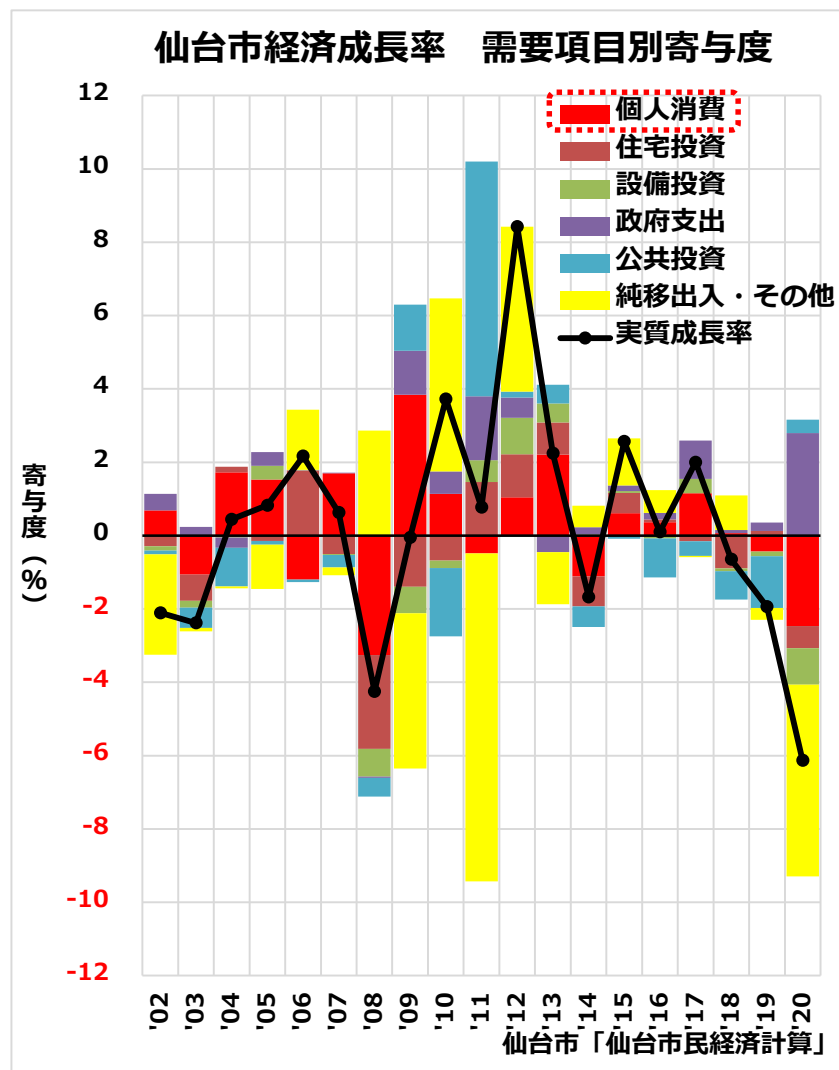
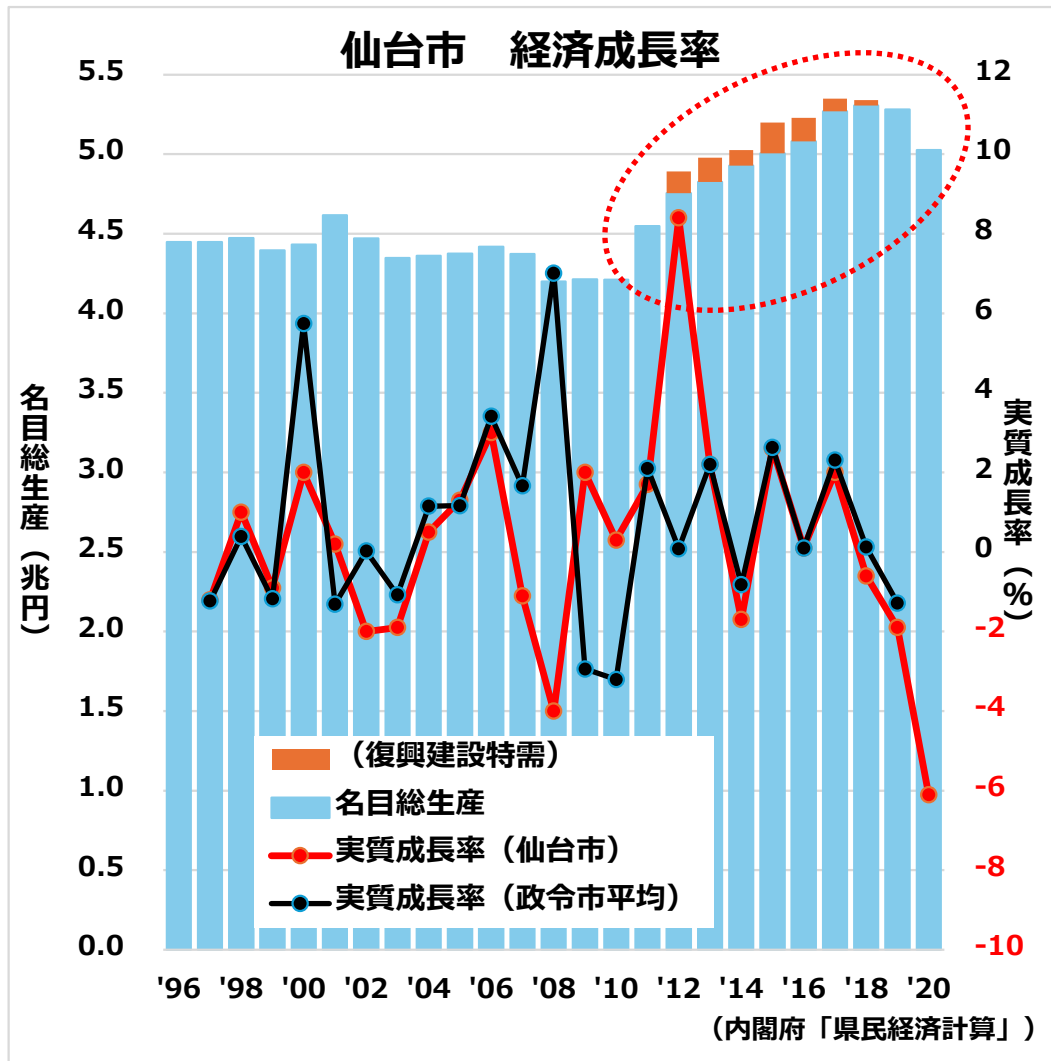
- ① **ジーデップ・アドバンス（仙台市）**
米半導体・エヌビディアとの協力関係をテコに大手商社やIT企業との取引多
- ② **オカムラ食品工業（青森市）**
直近連結売上高（289億円）の36%が海外
- ③ **雨風太陽（花巻市）**
産直通販「ポケットマルシェ」の売上は8割程度が大都市圏

売上高に占める東北地域の割合

（東北の上場企業、全36社・金融機関除く）

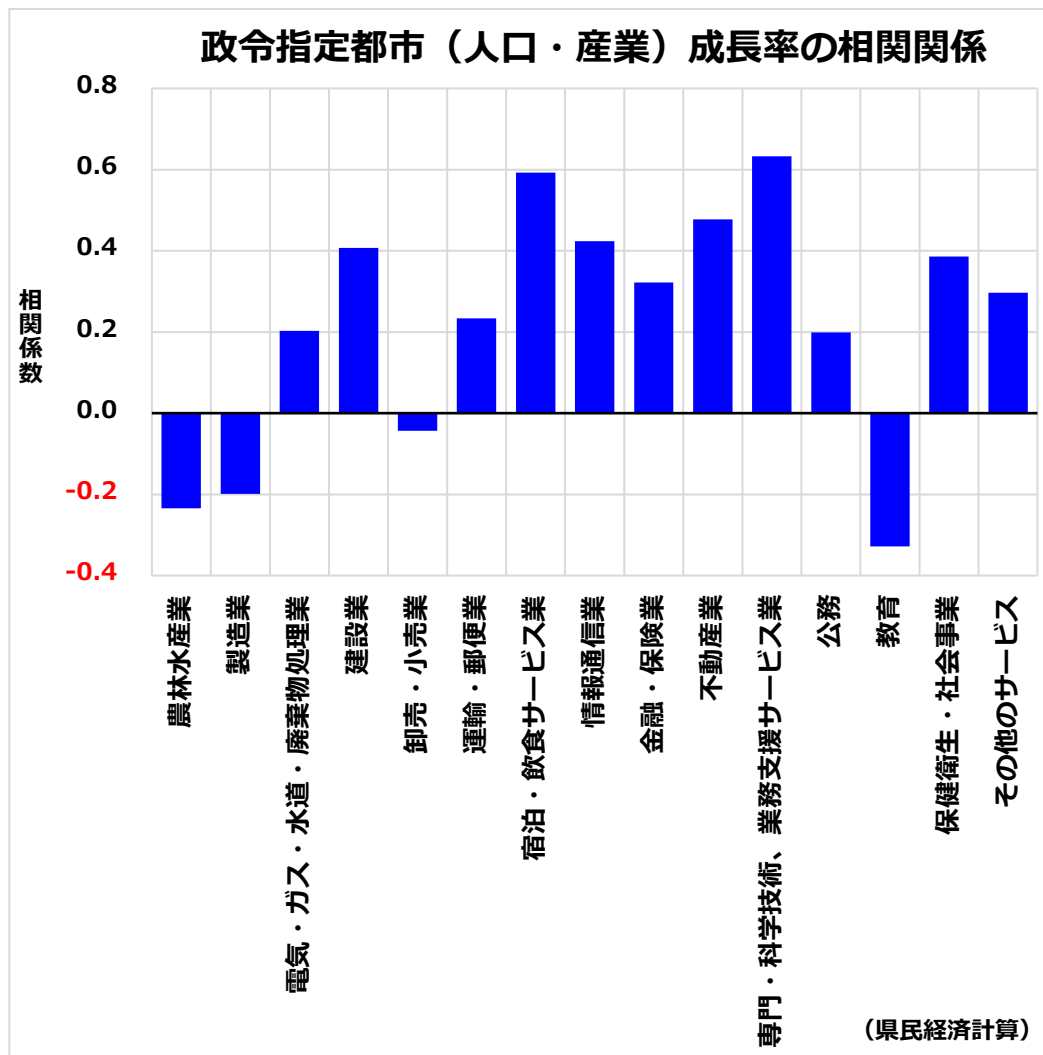
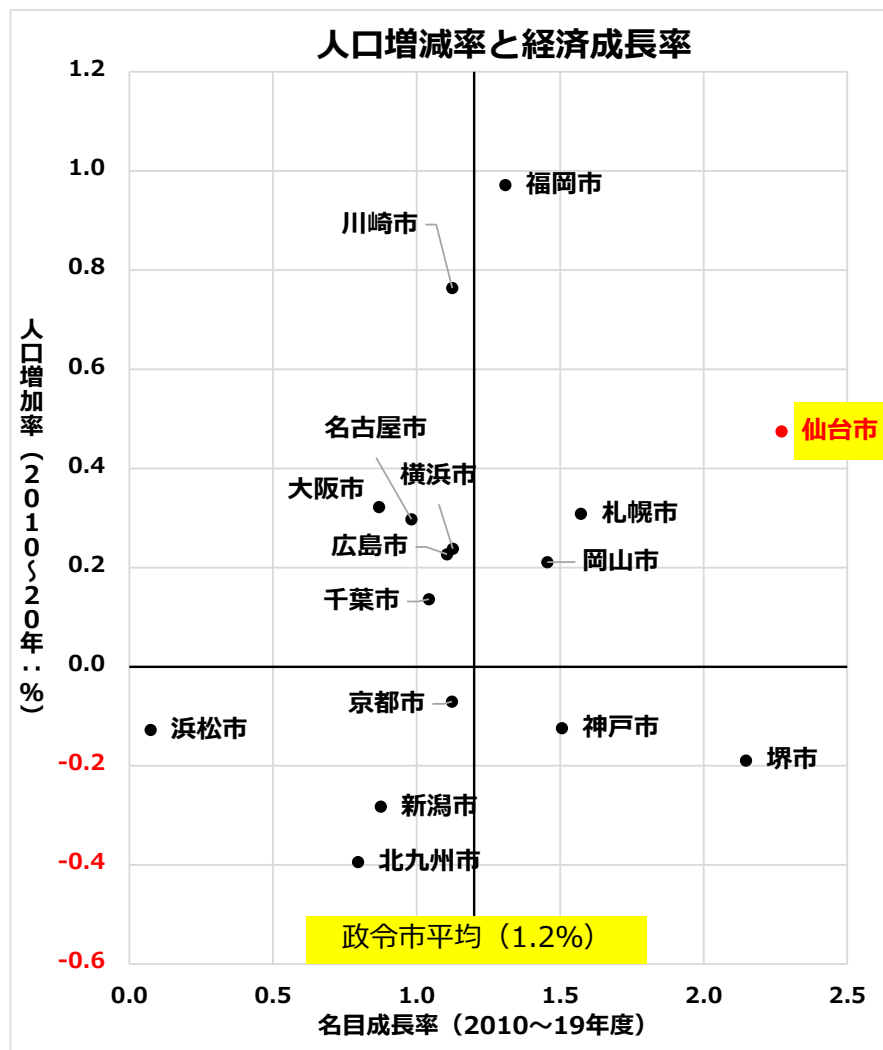


○ 仙台市の経済成長率



震災前は政令市並みながらも伸び悩んでいた仙台市の経済成長。震災後は仙台圏への経済集積で水準は上昇する一方、人口・内需依存型の非基盤産業が中心の面も。

○ 指令市の人口・経済成長



政令市の産業別成長率ではサービス業の多くが人口増加率と正の相関。外需を取り込むサービス業でも一定の商圈人口と産業集積は必要で、人口減少局面では多くが逆風。

○ 仙台市の人口移動状況

仙台市の地域間転入・転出・転入超過数（宮城県を除く）

(人)

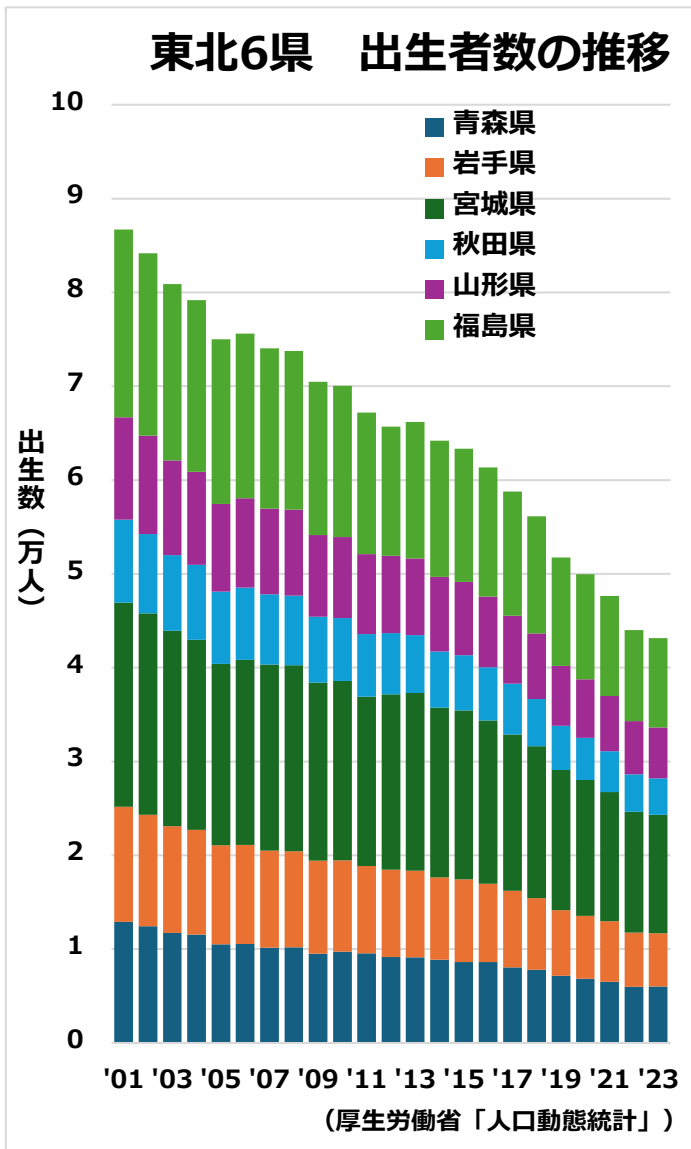
	転入者数			転出者数			転入超過				
	2023年	対'22年増減	対'19年増減	2023年	対'22年増減	対'19年増減	2019年	2022年	2023年	対'22年増減	対'19年増減
移動者合計	31,490	▲ 766	▲ 729	31,386	570	▲ 1,389	▲ 556	1,440	104	▲ 1,336	660
北海道	1,461	▲ 116	▲ 6	1,335	▲ 110	▲ 171	▲ 39	132	126	▲ 6	165
東北	13,093	▲ 146	104	8,135	▲ 231	▲ 862	3,992	4,873	4,958	85	966
青森県	2,368	135	133	1,244	▲ 58	▲ 78	913	931	1,124	193	211
岩手県	3,278	8	17	2,008	1	▲ 57	1,196	1,263	1,270	7	74
秋田県	1,755	15	▲ 37	1,005	▲ 39	▲ 195	592	696	750	54	158
山形県	2,619	▲ 81	▲ 45	1,718	▲ 27	▲ 276	670	955	901	▲ 54	231
福島県	3,073	▲ 223	36	2,160	▲ 108	▲ 256	621	1,028	913	▲ 115	292
北関東	1,402	▲ 81	▲ 126	1,458	▲ 49	16	86	▲ 24	▲ 56	▲ 32	▲ 142
首都圏	9,923	▲ 174	▲ 332	14,270	806	▲ 419	▲ 4,434	▲ 3,367	▲ 4,347	▲ 980	87
東京都	4,500	▲ 78	▲ 188	7,018	454	▲ 23	▲ 2,353	▲ 1,986	▲ 2,518	▲ 532	▲ 165
北陸・甲信越	1,136	▲ 55	▲ 34	1,019	10	124	275	182	117	▲ 65	▲ 158
東海	1,365	▲ 122	▲ 160	1,526	20	▲ 150	▲ 151	▲ 19	▲ 161	▲ 142	▲ 10
近畿	1,522	▲ 20	▲ 114	1,881	55	▲ 110	▲ 355	▲ 284	▲ 359	▲ 75	▲ 4
中国	445	▲ 98	0	484	24	▲ 3	▲ 42	83	▲ 39	▲ 122	3
四国	181	▲ 24	▲ 57	159	▲ 35	▲ 4	75	11	22	11	▲ 53
九州・沖縄	962	70	▲ 4	1,119	80	190	37	▲ 147	▲ 157	▲ 10	▲ 194

注. 仙台市と宮城県内市町村間の移動を除き、外国人を含む総数

東北+首都圏	▲ 442	1,506	611
--------	-------	-------	-----

人口・内需依存産業の基盤となる“人口ダム機能”はコロナ禍で一時復活したが・・・

○ 東北の出生数・仙台の将来推計人口

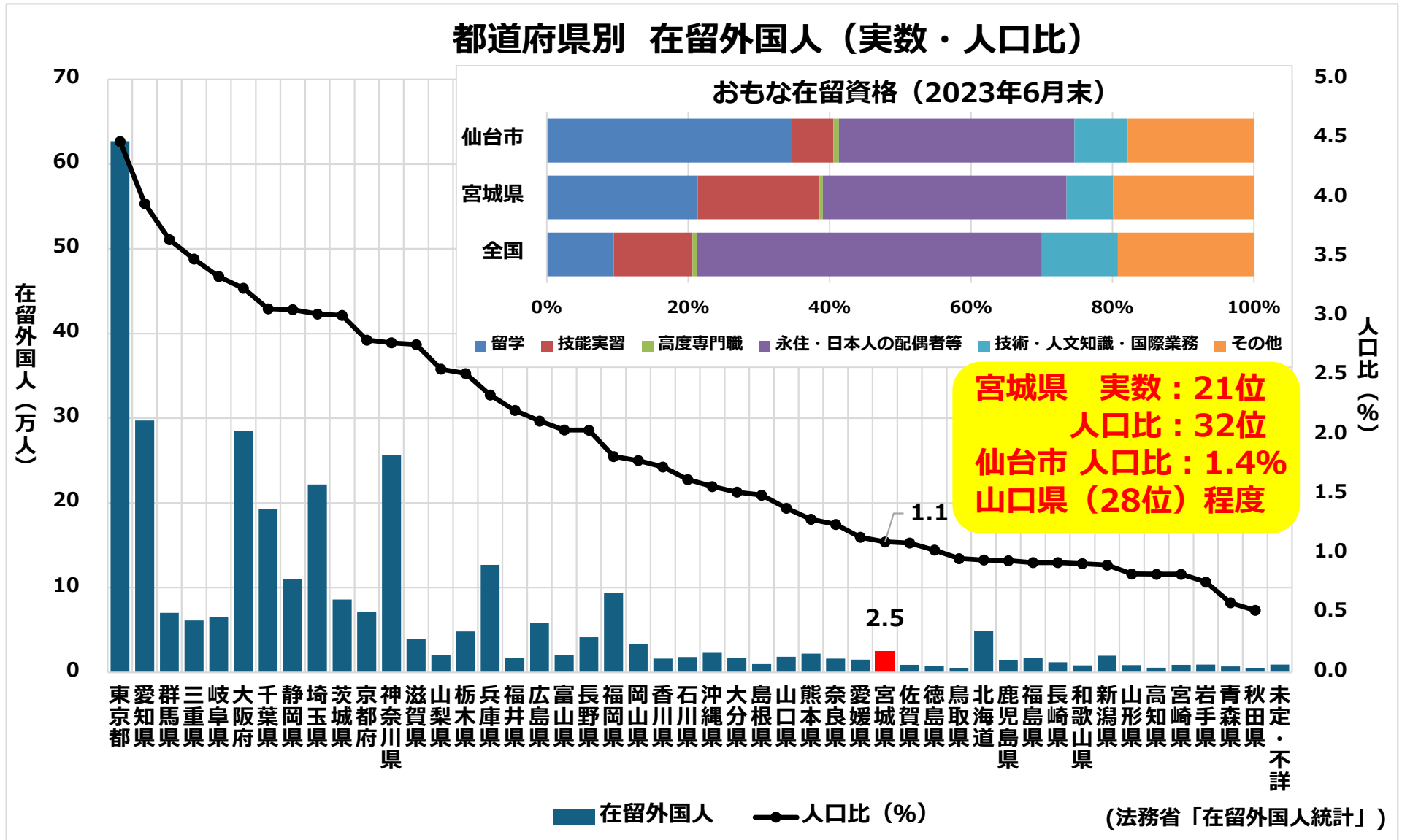


	政令市の将来推計人口の推計時点 (2018・23年) 間の差異 (人)					
	2030年の推計人口			2040年の推計人口		
	2018年推計①	2023年推計②	②-①	2018年推計③	2023年推計④	④-③
札幌市	1,959,483	1,949,619	-9,864	1,870,991	1,868,252	-2,739
仙台市	1,048,353	1,090,319	41,966	972,871	1,056,113	83,242
さいたま市	1,318,050	1,362,700	44,650	1,302,432	1,361,675	59,243
千葉市	965,799	959,376	-6,423	927,177	929,803	2,626
横浜市	3,668,329	3,756,159	87,830	3,529,740	3,664,048	134,308
川崎市	1,561,833	1,567,243	5,410	1,562,480	1,607,068	44,588
相模原市	696,533	710,265	13,732	658,469	682,037	23,568
新潟市	769,821	738,295	-31,526	719,441	680,256	-39,185
静岡市	646,098	649,978	3,880	594,305	598,680	4,375
浜松市	768,177	752,174	-16,003	728,238	707,669	-20,569
名古屋市	2,288,779	2,291,900	3,121	2,220,432	2,221,982	1,550
京都市	1,423,318	1,411,864	-11,454	1,343,401	1,331,683	-11,718
大阪市	2,618,759	2,705,793	87,034	2,488,747	2,585,355	96,608
堺市	788,400	769,085	-19,315	733,512	710,676	-22,836
神戸市	1,458,926	1,440,480	-18,446	1,354,561	1,343,629	-10,932
岡山市	720,053	708,576	-11,477	699,058	680,702	-18,356
広島市	1,193,985	1,163,450	-30,535	1,150,616	1,111,468	-39,148
北九州市	877,426	873,315	-4,111	807,022	801,253	-5,769
福岡市	1,667,501	1,659,766	-7,735	1,671,888	1,664,570	-7,318
熊本市	733,096	720,627	-12,469	708,468	689,390	-19,078

(社会保障・人口問題研究所「将来推計人口」)

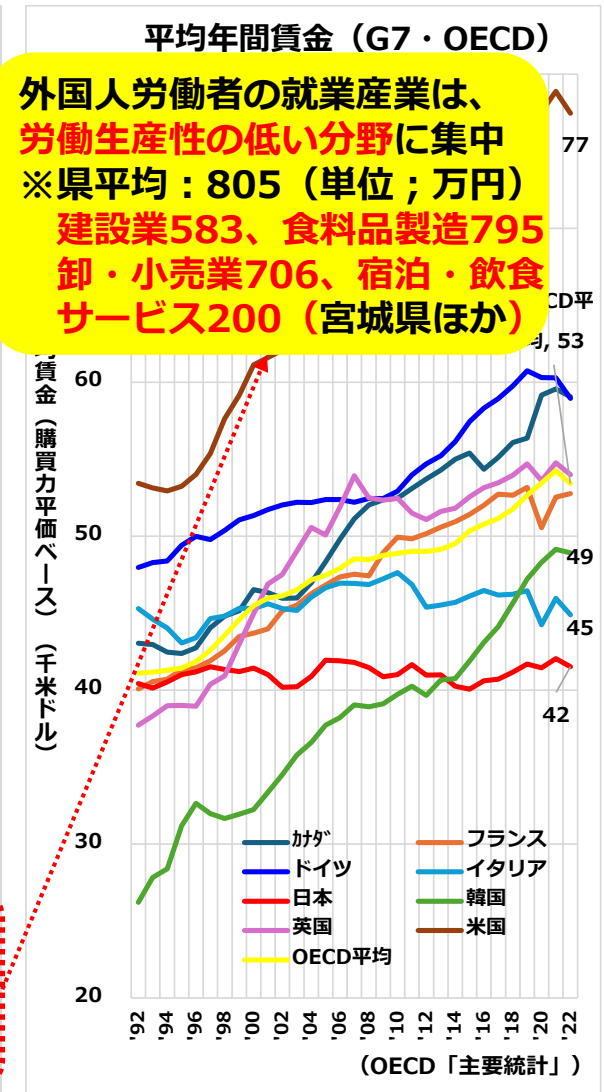
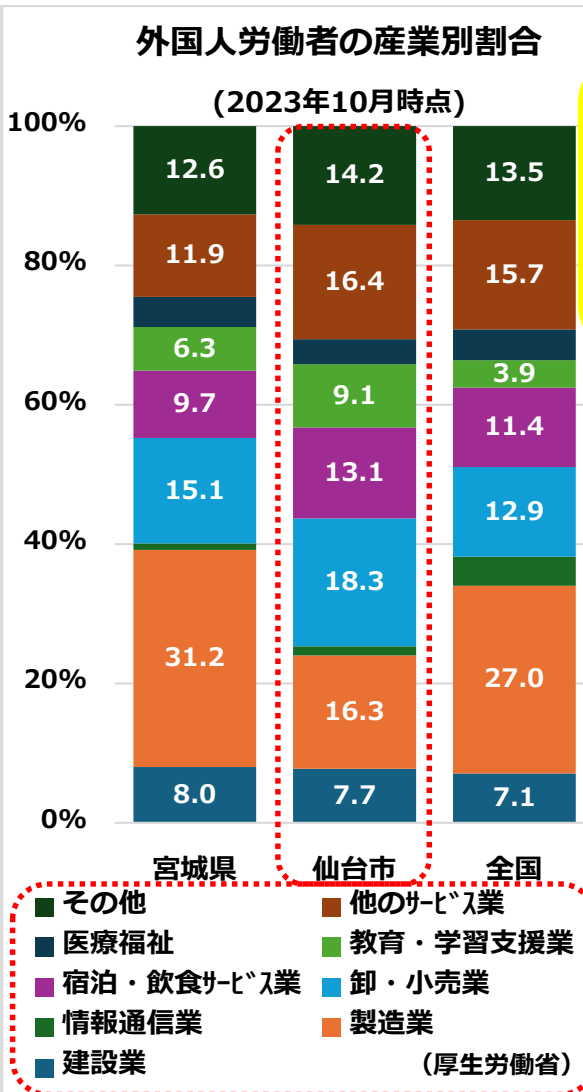
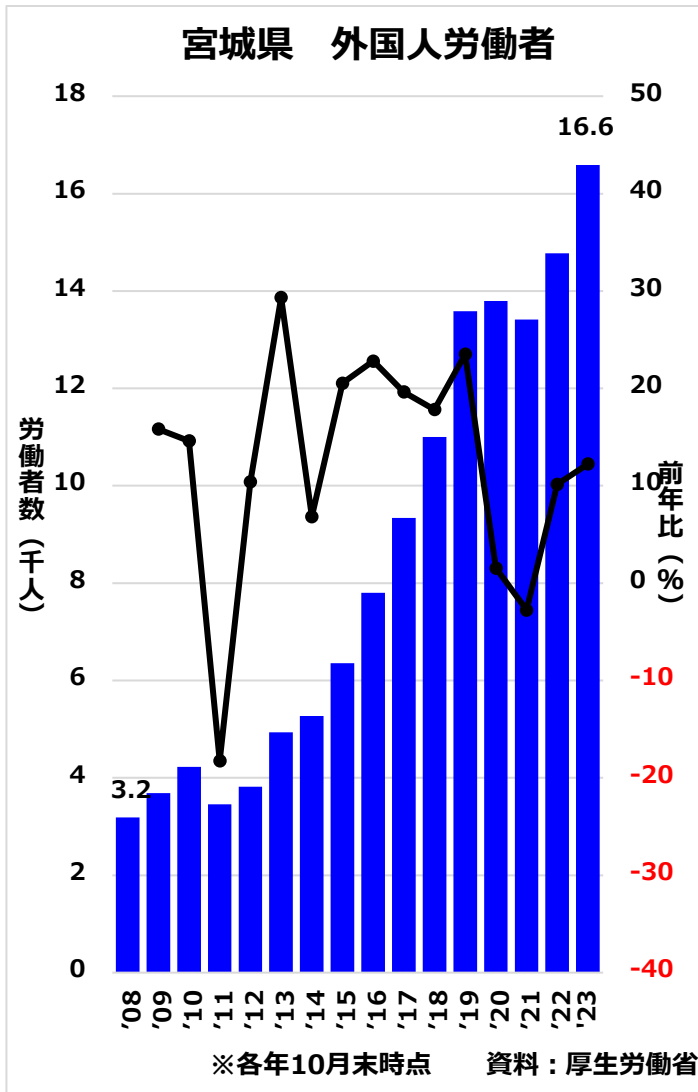
人口供給元・東北の人口生産力は危機的だが、仙台の推計人口予測の上振れ原因は？

○ 宮城県・仙台市の在留外国人



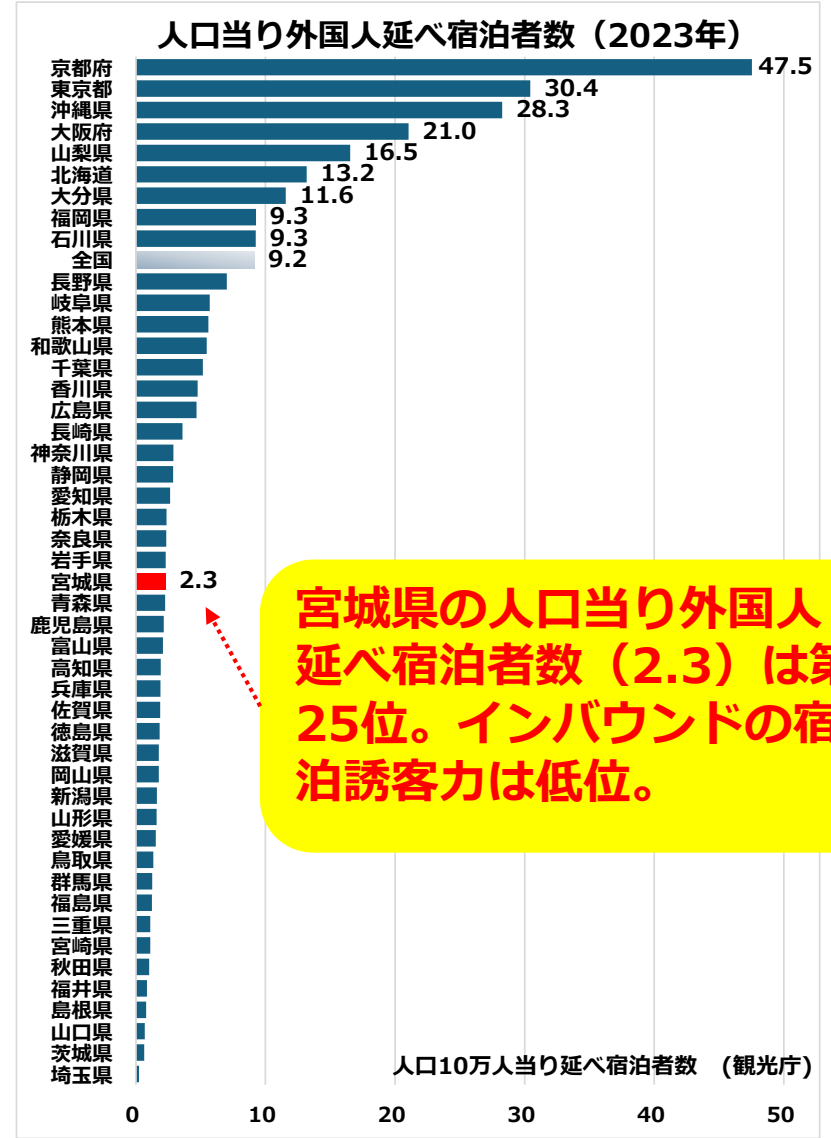
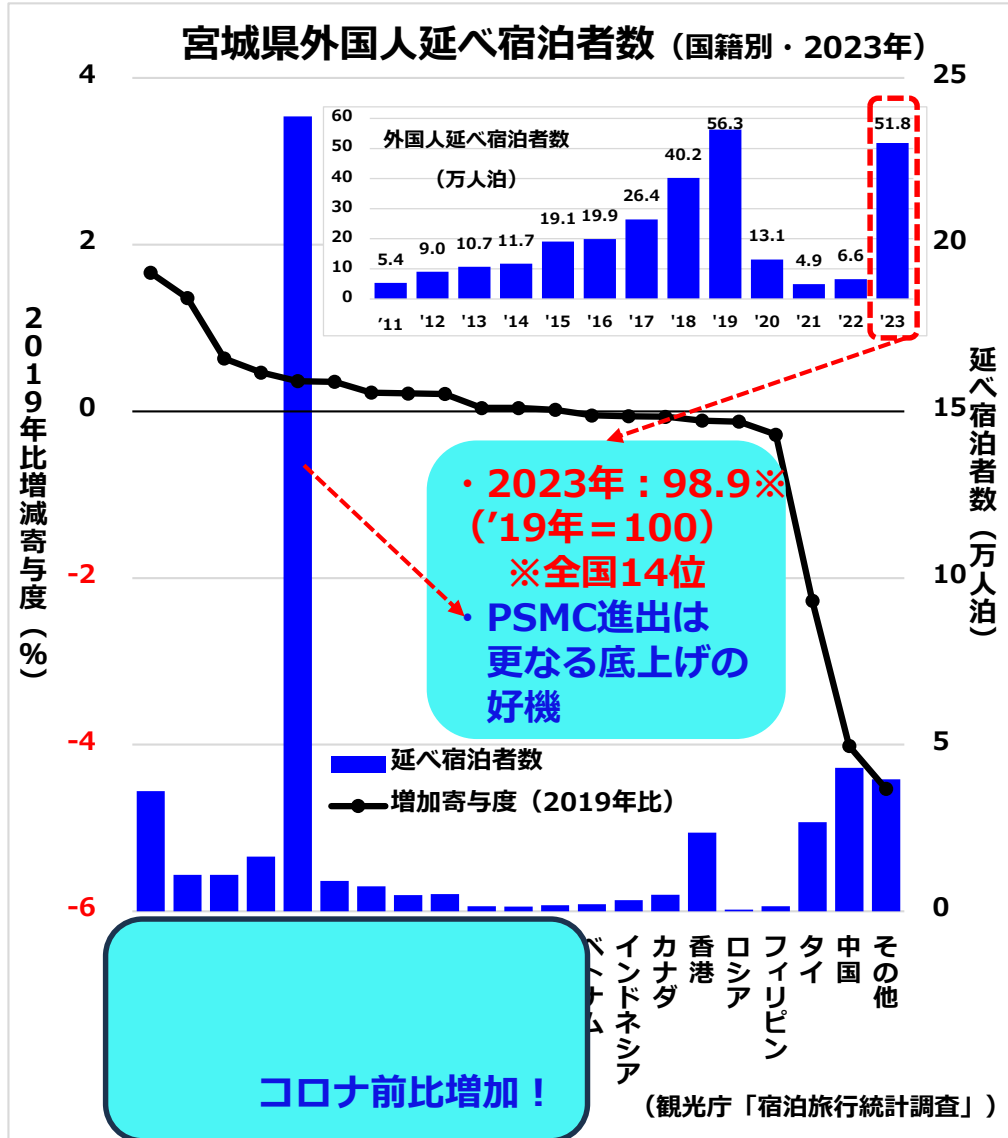
カギを握る在留外国人、宮城県は実数・人口当たりともに中位以下。

○ 宮城県内の外国人労働者



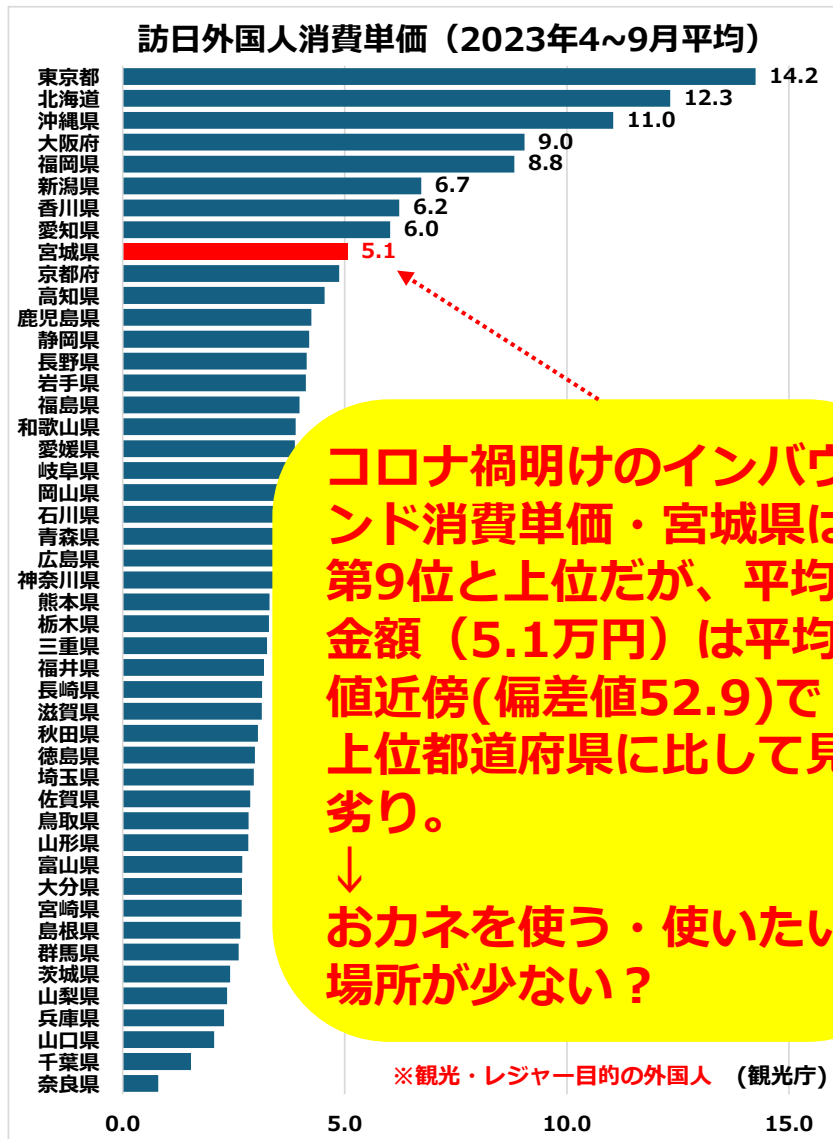
・リーマンショック、震災、コロナ禍を経ても増加の止まない外国人労働者
 ・日本の労働市場の魅力は低下の一途、「便利で安い労働力」では早晚行き詰まり必至

○ インバウンド①



コロナ復興元年のインバウンド回復は健闘したが、都市規模に比して宿泊誘客力に弱さ

○ インバウンド②



コロナ禍明けのインバウンド消費単価・宮城県は第9位と上位だが、平均金額 (5.1万円) は平均値近傍(偏差値52.9)で上位都道府県に比して見劣り。

↓

おカネを使う・使いたい場所が少ない?

入国・出国空港別 訪日外国人平均泊数 (泊)

	2023年4~6月		7~9月		10~12月	
	入国	出国	入国	出国	入国	出国
全体	7.2	—	7.1	—	6.8	—
新千歳空港	5.2	4.8	5.1	4.9	5.0	4.8
仙台空港	4.3	4.4	5.3	5.4	4.7	5.1
東京国際空港	10.6	10.6	10.5	10.4	10.0	9.6
成田国際空港	8.5	8.5	8.2	8.3	8.1	8.3
中部国際空港	6.1	6.2	6.8	6.5	5.8	5.9
関西国際空港	5.7	6.2	6.2	6.5	6.2	6.2
広島空港	6.8	10.3	9.3	7.6	4.7	4.1
福岡空港	4.4	4.1	4.0	4.1	4.1	4.3
那覇空港	3.9	3.8	6.0	6.1	3.8	3.8

(観光庁「訪日外国人消費動向調査」)

滞在時間を引き延ばせる魅力的な観光資源の集積が重要!

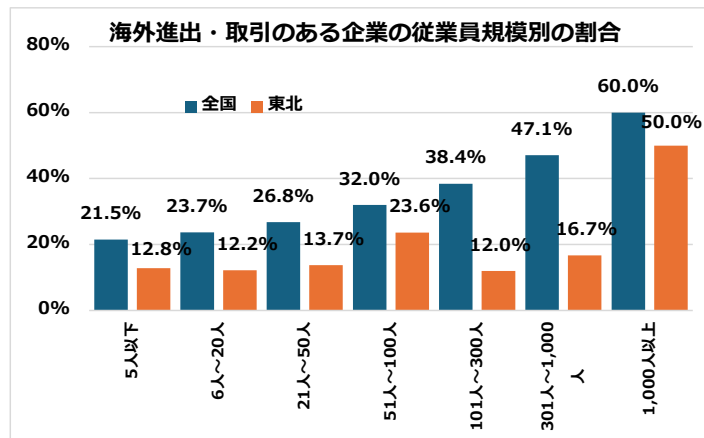
また課題は観光の稼ぐ力、滞在長期化・ナイトタイムエコノミーなど魅力創出も重要

○ 東北企業の海外進出をめぐる①

企業の海外進出・取引の状況（2023年）

	全国	東北
海外進出・取引あり	28.1	14.7
直接的な進出・取引	17.3	6.6
生産拠点	4.8	1.4
販売拠点	4.5	1.4
資本提携	1.4	0.7
現地法人の設立	5.2	1.5
直接輸入/仕入	8.9	3.3
間接的な進出・取引	21.0	11.7
業務提携	2.7	1.1
業務委託	3.9	1.4
直接輸出	5.3	1.8
間接輸出	8.4	6.0
間接輸入/仕入	9.9	4.9
進出していない	67.4	80.5
その他/分からない	4.5	3.9

出所：帝国データバンク（以下同じ）



【東北】海外進出・取引の課題（複数回答）～上位10項目～

	全体	大企業	中小企業
外国為替レートの変動	33.1	33.3	33.1
言語の違い	31.8	30.8	31.9
社内人材(邦人)の確保	31.5	42.3	30.2
文化・商慣習の違い	28.8	32.1	28.4
進出先の政治情勢に関する情報収集	27.5	32.1	27.0
進出先の経済情勢に関する情報収集	25.9	37.2	24.6
取引先、提携先、パートナー企業の開拓、選定、選択	24.8	29.5	24.3
現地人材の確保・育成	24.0	32.1	23.1
海外進出に向けた社内体制の整備	23.9	32.1	22.9
進出先の市場性や競合の把握	20.1	28.2	19.1

【東北】期待する支援サービス・情報（複数回答）

	全体	大企業	中小企業
法制度や商慣習に関する支援	29.4	38.5	28.4
リスクマネジメント	27.3	30.8	26.9
事業計画支援	23.6	21.8	23.8
販売確保や開拓支援	23.2	23.1	23.2
人材育成支援	23.1	32.1	22.0
市場動向調査支援	21.3	23.1	21.1
赴任者らの生活支援	20.6	26.9	19.9
取引先の信用度合の把握	19.5	19.2	19.6
資金調達支援	19.1	19.2	19.1
現地課題解決支援	17.9	24.4	17.1
海外視察サポート	11.7	10.3	11.8

○ 東北企業の海外進出をめぐる②

東北農政局管内の輸出拡大実行戦略に基づく輸出産地

令和4年12月

東北経済連合会の輸出支援実績

(18品目 175産地)

青森県 5品目14産地

りんご …県内全域
 コメ …県内全域
 ホタテ貝 …青森市、平内町
 清酒 …県内全域
 錦鯉

秋田県 8品目29産地

牛肉 …秋田市
 りんご …県内全域
 コメ …横手市、美郷町
 (コメ・パックご飯・米粉及び米粉製品)
 …大潟村
 合板 …秋田市、男鹿市
 味噌 …県内全域
 清酒 …県内全域
 本格焼酎・泡盛 …大仙市
 錦鯉

山形県 12品目49産地

牛肉 …山形市
 りんご …県内全域
 ぶどう …県内全域
 もも …県内全域
 かき …県内全域
 切り花(啓翁桜) …県内全域
 コメ …県内全域
 菓子 …山形市
 醤油 …県内全域
 清酒 …県内全域
 本格焼酎・泡盛 …米沢市、酒田市、
 寒河江市、長井市、東根市、
 高島町
 錦鯉



岩手県 8品目20産地

牛肉 …紫波町
 鶏肉 …一関市
 りんご …県内全域
 切り花(りんどう) …八幡平市
 コメ …県内全域
 合板 …宮古市
 醤油 …県内全域
 清酒 …県内全域

宮城県 6品目25産地

いちご …亶理町、山元町
 コメ …登米市、石巻市、東松島市、女川町、
 仙台市、多賀城市、塩釜市、利府町、松島町、
 七ヶ浜町、加美町、色麻町、栗原市、気仙沼市、
 富谷市、大崎市、南三陸町、大和町、大郷町、
 大衡村、涌谷町、美里町
 合板 …石巻市
 味噌 …県内全域
 醤油 …県内全域
 清酒 …県内全域

福島県 11品目38産地

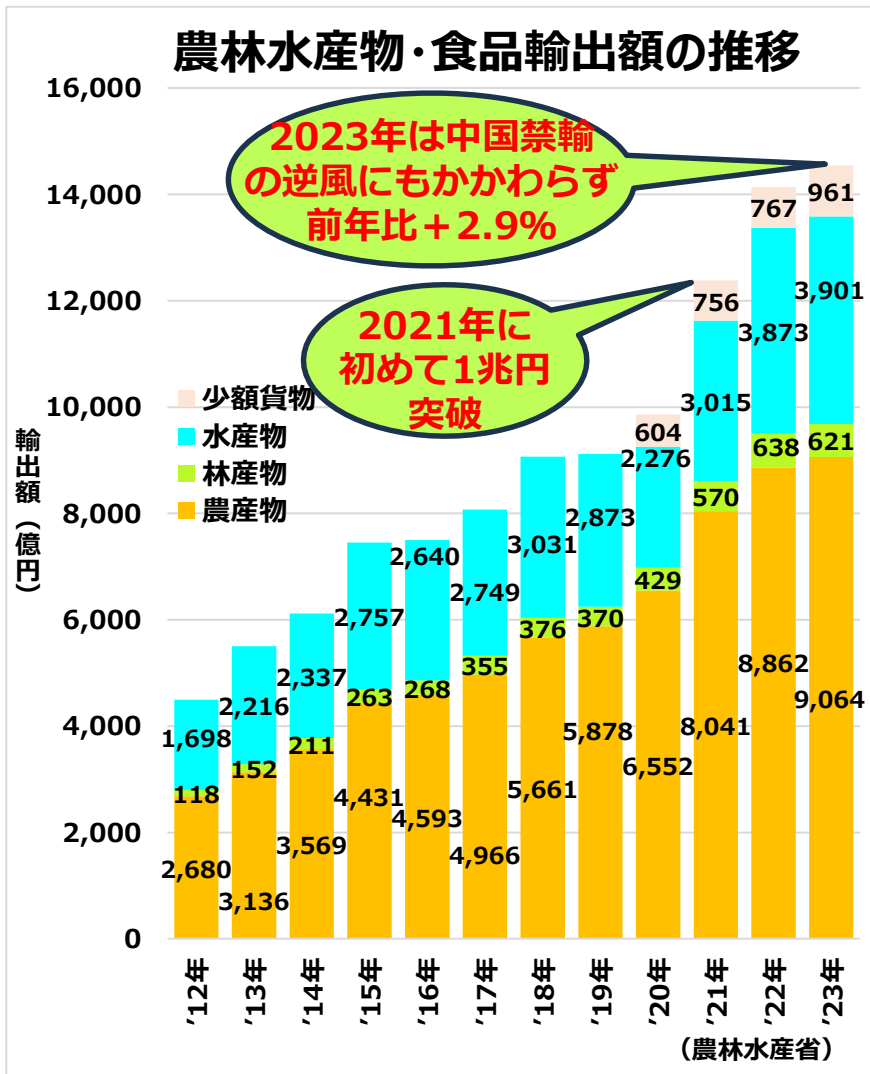
りんご …福島市
 もも …福島市、伊達市、桑折町、国見町
 かき(あんぼ柿) …福島市、伊達市、桑折町、国見町
 切り花(ユキヤナギ) …須賀川市
 (宿根カスミソウ) …昭和村、柳津町、三島町、金山町
 コメ …県内全域
 味噌 …県内全域
 醤油 …県内全域
 清酒 …県内全域
 ウイスキー …郡山市
 本格焼酎・泡盛 …郡山市、白河市、喜多方市、二本松市、只見町
 錦鯉

産地	品目	輸出先	年月	量
青森県	モモ	香港	'21年8月	96ヶ入
			'22年8~9月	384ヶ入
	鶏卵	香港	'22年3月	608ヶ入
宮城県	サツマイモ	香港	'21年2月	300ヶ入
	サツマイモ		'21年4月	300ヶ入
	サツマイモ		'21年11月~	約120ト
	魚肉(シーラ)	マレーシア	'21年10月	22ヶ入
	キャベツ	香港	'21年11月~	630ヶ入
秋田県	枝豆	香港	'22年9月	50ヶ入
山形県	メロン	香港	'19年7月	300ヶ入
	メロン		'21年7月	48ヶ入
	メロン		'22年7月	100ヶ入
	メロン		'22年7月	200ヶ入

資料：東北経済連合会

出所：東北農政局「東北農政局における輸出拡大に向けた取り組みについて」(2023年10月6日)

○ 東北の食の輸出の拠点化



おもな輸出農林水産品 (2023年)

(億円)

品目	金額	品目	金額	品目	金額
ホタテ貝(生鮮・冷蔵・冷凍)	689	ぶり	418	なまこ(調製)	169
ウイスキー	501	牛乳・乳製品	308	りんご	167
牛肉	578	菓子(米菓除く)	307	さば	122
ソース混合調味料	544	丸太	231	練り製品	104
清涼飲料水	537	かつお・まぐろ類	227	いわし	99
日本酒	411	ホタテ貝(調製)	210	米(援助米除く)	94

本社機能を仙台に！

新たなスタイルの地域・企業連携の模索

【従来】共同事業 (JV)、共同出資 (合併事業)

【今後】持ち株会社・地域商社の活用など

※経理・総務・プロモーション・貿易手続等

(本社機能) の代行的集約・経営資源

(人手・設備・ノウハウ等) の融通・共有化

(例) 水産加工品海外展開ホールディング
(地域商社: 持ち株会社)

総務・経理部門
を吸収、傘下企業は本業に特化

水産加工A社

水産加工B社

冷凍倉庫C社

製氷業D社

運送業E社

広告業F社

小売業G社

商社H社

人員不足には企業同士で融通。
AIで経営資源配分最適化やノウハウ共有なども。

東北がポテンシャルを有し、海外で人気の「日本の食」。東北の小規模事業者を束ねて海外展開を図る地域商社の「本社（機能）」設立を仙台に促し、外貨（外需）獲得へ。

○ 動き出した悲願・「仙台シリコン・バレー」構想

【次世代放射光施設（ナノテラス）】2024年度稼働
新材料やデバイス、生命機能、創薬の研究開発など
10年間で1.9兆円の経済波及効果（東経連試算）



【JSMC生産工場】2024年工場建設着工
2027年稼働・2029年量産開始（1,900億円）
40/55ナノの先端半導体（車載向け）を生産
700人程度の半導体の高度人材を雇用予定



【東北大・国際卓越研究大学（候補）】2024年度～
「10兆円ファンド」から年間100億円規模の支援
材料科学・省エネ半導体・未来型医療・災害科学など

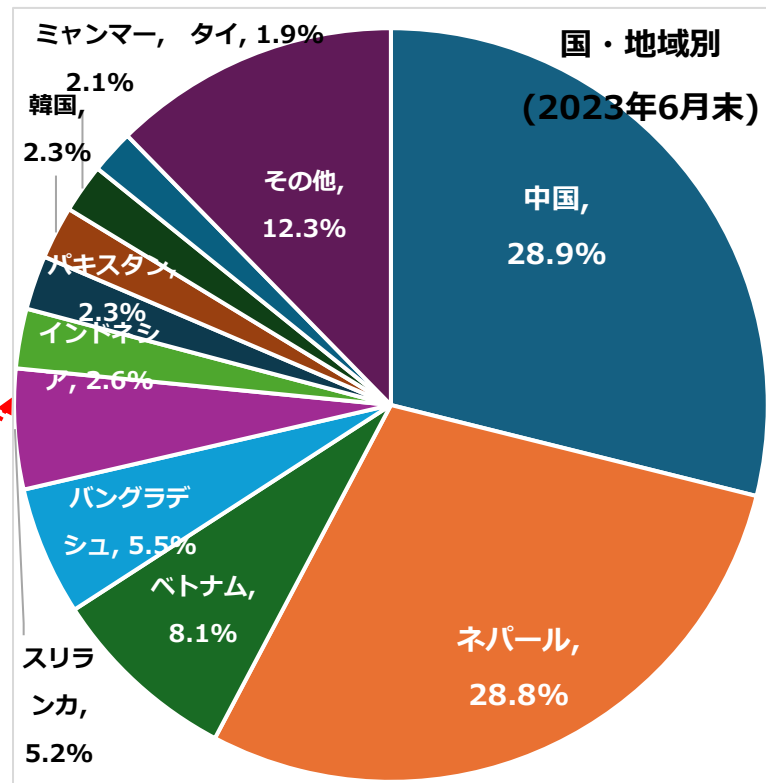
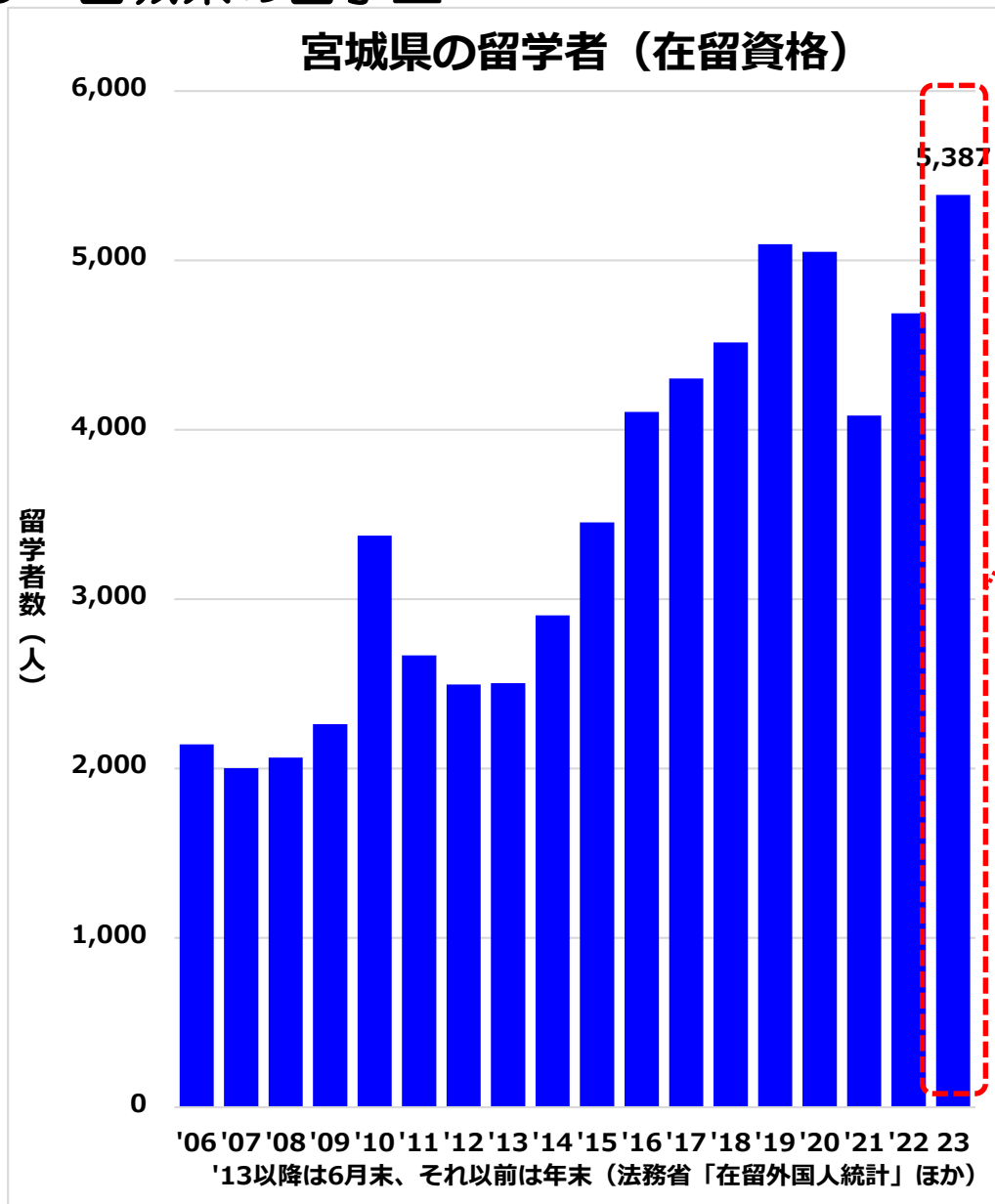


浮かんで消えた「仙台シリコン・バレー」構想に向け、重なる好機。

- ・ 東北大の高いレベルの研究を**事業化（マネタイズ）**する強いインセンティブ
- ・ 優秀な（理系）**学生の受け皿**となるグローバル企業（関連）の立地
- ・ 地方でも**スタートアップ**を可能にしたデジタル技術の進展

重要なのは何と言っても「人材」

○ 宮城県の留学生



- ・ PSMCを呼び水に半導体産業集積により国内外の半導体人材の奪い合いは激化。
- ・ 期待される宮城県の留学生は、増加しているものの実質的に“出稼ぎ”が大半で東北地域の高度人材とはなりにくいのが現状。
- ・ 少子化が進む中、国内外問わず就労条件付の減免奨学金などを導入するのの一法。

○ 地域経済・国際化のポイント（まとめに代えて）

○ 国内は馴染み深いred ocean、海外は未知のblue ocean

- ☞ 危機意識と海外ビジネスのチャンスを認識し、有望な経営資源を持ちながらリスクを取ることを躊躇している企業の「背中を押す」政策とは何か？

○ 「規模の利益」確保と連携上の課題

- ☞ 海外展開は単独では難しいが、連携も難しいのが現状。必要性を理解しながら連携がうまくいかないのはなぜか？

○ 根強い「安売り」経済のノルム

- ☞ 「安い＝善」「サービスはタダ」など根強いノルムに支配されてきた地域企業が、どうすれば海外・外国人に付加価値を訴求する（高く売る）ことができるようになるのか？

○ 地域経済・企業の異文化との関わり方

- ☞ 商取引自体は世界で最も標準化が進んだ分野だが、宗教や文化・慣習などプレーヤーの地域特性は多様。地域企業が国内外で異文化と関わるうえでの障壁や打開策は何か？